

日本体育協会

総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジン

〈連載〉東日本大震災被災地 応援情報

宮城県内の総合型クラブの取り組み

Q1 貴クラブの活動状況について、直近1年間でどのような変化がありましたか？

A.

平成24年度までの状況	平成25年度の状況
<p>【南光台東エンジョイ倶楽部（仙台市泉区）】</p> <p>○南光台東地域では、震災により多くの施設が全半壊等大きな被害を受け、倶楽部も50日間教室・イベントの活動が中止となりました。平成24年度は集会所・コミュニティセンターの施設等の近隣施設へ出かけて事業を行いました。</p>	<p>○小学校体育館が震災後の修理が終わっておらず使用できないため、バドミントン教室等は、コミュニティセンターの狭い会場での教室となっています。集会場でできる種目として、新しくスポーツ吹き矢教室を始めました。小学校の校庭は使用できるので、グラウンドゴルフ、ペタンク教室を行っています。12月から小学校サッカー部として、月3回のサッカー教室を開くことになり、子どもの会員も増え活気と元気あふれる倶楽部になるよう頑張っています。</p>
<p>【マリソル松島スポーツクラブ（松島町）】</p> <p>○クラブマネジャー1人で運営等を行う状況でした。</p>	<p>○サブマネジャーを入れ2人体制で運営等ができるようになりました。</p>
<p>【りふスポーツクラブ“スポメイトりふ”（利府町）】</p> <p>○震災の影響で、一時会員数が減りましたが、1年後には震災前までの数に戻りました。</p>	<p>○会員数が増加しました。</p>
<p>【スポーツクラブWAY[®]（美里町南郷）】</p> <p>○総合型クラブの意義を説明しても、なかなか受け入れてもらえないことが多々ありました。そのことが活動場所の借用等にも影響していました。</p>	<p>○地域でクラブのことが話題にあがるようになりました。「総合型って何?」「スポーツクラブWAY[®]はどんなことをしているの?」と聞かれることも多くなりました。活動が周知されてきたと感じています。</p>
<p>【川崎町総合型スポーツクラブ「運動笑楽校」(川崎町)】</p> <p>○活動可能なプログラムを無理のない範囲で実施しました。</p>	<p>○総合型クラブの存在が、地域住民に広がりはじめ、体育協会、スポーツ少年団との共催事業がスタートしています。</p>
<p>【女川町スポーツクラブネット（女川町）】</p> <p>○クラブ活動の一部を再開しました。</p>	<p>○平成24年度と同様の状況です。</p>

<p>【多賀城市民スポーツクラブ(多賀城市)】</p> <p>○震災の影響により一部使用できない、または、使用に制限のある施設がありました。</p>	<p>○災害復旧工事がほぼ全施設で終了したため、震災前と同様の利用が可能となりました。</p>
<p>【レッツいわぬまスポーツネット(岩沼市)】</p> <p>○震災により、会員数が減少し、また、教室会場が確保できなくなってしまったので、もともとやっていた教室やイベントを中心に活動を再開させました。</p>	<p>○toto助成金により事務局が常に運営できる状態になりました。また、会員も増加し、様々なイベントを行えるようになりました。会場確保にはまだ苦勞していますが状況は良くなりました。</p>
<p>【尚綱学院大学総合型地域スポーツクラブ絆・KIZUNA(名取市)】</p> <p>○平成25年3月に設立しました。</p>	<p>○クラブとして本格的に活動を開始し、バレーボール、テニス、ヨガストレッチ、レクダンス、ウォーキング、グラウンドゴルフ、健康な暮らし講座をメイン事業として実施しています。</p>
<p>【いしのまき総合スポーツクラブ(石巻市)】</p> <p>○市民ハイキング等のイベントを開催しましたが震災の影響もあり、積極的に参加いただける方が少なく、参加者があまり集まりませんでした。</p>	<p>○スポーツ教室や各種イベント等に参加する方が増え、また、「教室に来ると元気になれる!」という方が多く見受けられるようになりました。</p>
<p>【わかやなぎスポーツクラブ(栗原市若柳)】</p> <p>○クラブ事務局主導の運営体制でした。</p>	<p>○クラブ会員の自立性が、活動において少しずつ培われてきました。</p>
<p>【アクアゆめクラブ(七ヶ浜町)】</p> <p>[直近1年間の出来事]</p> <p>○会員数の減少(プログラムの一部が再開できないため)</p> <p>○県外からの視察の増加</p> <p>○アスリートによる被災地支援がなくなってしまった</p> <p>○会場の確保が難しい(学校開放がパンク状態)</p>	<p>○toto助成金に助けられている</p> <p>○他クラブとの連携事業の実施(七ヶ浜・気仙沼)</p> <p>○新規事業につながる提案の増加(行政からの委託事業)</p>

Q2

支援活動(被災地・被災者支援)を行っている総合型クラブ等について、直近1年間でどのような変化がありましたか?

A.

平成24年度までの状況	平成25年度の状況
<p>【尚綱学院大学総合型地域スポーツクラブ絆・KIZUNA(名取市)】</p> <p>○避難所や仮設住宅での活動を行いました。健康体操や食育教室、カラオケ教室など名取市内2か所と仙台市内2か所で寄り添い活動を実施しました。</p>	<p>○仮設住宅集会場での寄り添い活動を継続して行っています。健康体操、ヨガストレッチ、お花見会、夏まつり、いも煮会など季節ごとの行事も普段の活動以外に行っています。</p>
<p>【レッツいわぬまスポーツネット(岩沼市)】</p> <p>○震災により、会員数が減少し、また、教室会場が確保できなくなってしまったので、もともとやっていた教室やイベントを中心に活動を再開させました。</p>	<p>○toto助成金により事務局が常に運営できる状態になりました。また、会員も増加し、様々なイベントを行えるようになりました。会場確保にはまだ苦勞していますが状況は良くなりました。</p>

Q3 被災地や貴クラブが復興していくために、今後求められることは何でしょうか？

A.

【マリソル松島スポーツクラブ（松島町）】

○地域（住民）に必要とされるクラブ運営が求められます。

【スポーツクラブWAY（美里町南郷）】

○少しずつであっても地道な活動を継続し、被災者の心の支えになる等、一人ひとりに寄り添った活動が求められます。

【女川町スポーツクラブネット（女川町）】

○クラブ会員の増加が求められます。

【多賀城市民スポーツクラブ（多賀城市）】

○スポーツ活動のきっかけづくり、場所の確保・提供

【レッツいわぬまスポーツネット（岩沼市）】

○会員確保、安定した資金源の確保、安定した会場の確保、地域交流、自主運営の理解、運営側の人材確保等

【尚綱学院大学総合型地域スポーツクラブ絆・KIZUNA（名取市）】

○復興支援に係るスポーツクラブや団体等へ公私にわたる支援の継続が必要です。また、復興支援のための学習会や交流会等の設定も求められます。

【いしのまき総合スポーツクラブ（石巻市）】

○皆がスポーツを通して明るく元気になれるような、ニーズに合った教室やイベントを開催していくことが求められます。

【わかやなぎスポーツクラブ（栗原市若柳）】

○地域の各世代におけるニーズを確実に拾っていけるようなコミュニケーションづくりが必要です。

【エナブルスポーツクラブ（仙台市）】

○toto助成金を活用して、地域の子ども達からお年寄りまで体を動かす機会を増やしていくことが必要です。